



菊池 邦 議員

総合防災センター について

【質問】 総合防災センターについては、遠野市消防本部庁舎の老朽化と場所的なことから先進地等の調査、研究を進めていると認識している。基本計画策定の検討委員会を設置すると思うが、委員の選任等いろいろな形で市民が参画できればと思う。生活環境の変化が著しい今日、安全で住み良いまちづくりを目指す遠野市消防防災体制の整備について伺う。

【市長】 総合防災センターの整備についての調査・検討する専任職員を配置し、基本構想案の策定など18年度に向けた準備作業を進めている。施設整備構想を総合的に推進するため、施設整備準備室を立ち上げることにした。総合防災センターは、防災活動の拠点として周辺市町村の災害時における後方支援基地としての機能、さらには消防本部・消防署庁舎としての機能を併せた施設として検討していく。基本計画策定にあたっては、消防団、婦人消防協力隊、その他防災関係機関、行政区長など関係者の意見を十分に反映させる。

【質問】 自主防災組織について、地域住民に「自分たちの地域は自分たちで守る」ということを認識させる活動を今後どのように進めようとしているのか。

【市長】 自主防災組織の必要性を市民に周知し、自治会を対象とした自主防災組織の結成促進を図り、毎年5自治会の組織結成を目標として育成の強化を図る。全町を対象に「住民非難訓練」を実施するなど、市民多数の参加をいただき防災意識の醸成に努めていく。その他防災への取り組みとしては、救急救命措置の講演会を開催し災害現場で応急処置のできる人材を養成している。地域の防災マップは一自治会が作成しているが、今後、消防本部と関係機関が一体となって全市的なマップについても検討していく。



宮守町の出初式で行進する婦人消防協力隊



石橋 達八 議員

地域医療体制 の充実を

【質問】 地方分権の時代に対応し、市民との協働によるまちづくりをどう進めるのか。

【市長】 市民と行政が互いに協力し、地域にできることは、地域の自主性や主体性に委ね、自分たちの住む地域を自分たちの力で良くしていこうという、市民の柔軟な発想と潜在的な力を活かしたまちづくりを進める。また、今般作成した「遠野市経営改革大綱」は市民協働のまちづくりを目指したものである。

【質問】 産婦人科医師の確保を含め、遠野市が目指す地域医療の充実策は。

【市長】 産婦人科医師の確保については、平成18年度に新たに「産婦人科医師確保対策事業」を起し、開業医の招致などを含めた支援策等を整備し、一步踏み込んだ対応に努めるとともに、関係機関への要望も続ける。今後の地域医療の充実に向けては、岩手県地域保険医療協議会、県立病院運営協議会等で、遠野地域の安全・安心の医療体制について提言をしていく。

【質問】 少子・高齢化社会の遠野市の対応策は。

【市長】 高齢化社会の進展は、生活習慣病の増加や医療費・介護給付費の増加が予測されることから、「健康づくり総合プログラム」を策定して、市の関係機関、市民の参画で総合的、一体的に取り組む。少子化への対応はこれまでに取り組んできた107事業を整理再編し、新たな施策を検討する。また、庁内に子育てプロジェクトを設置し9月までに支援プランを策定する。

【質問】 学力トップ宣言など学力向上の明確な目標を。

【教育長】 学力向上は、遠野の教育の最重要課題である。2年後には学習定着度状況調査で県平均に、5年後には県内上位になるように目指したい。